

事業所名

にじいるCOMMON

支援プログラム

作成日

2024年

12月

28日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。 ・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。 				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・心理療法を中心に、子どもの心と行動の発達を支援する。 ・AIなどテクノロジーを学び新しい発見をする。 ・学校など外部施設と連携をとり、専門支援員が子どもたちや職員をサポート。 				
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、消毒、うがい、検温、体調観察などの健康チェック ・身辺自立への支援 ・感覚過敏への配慮 ・アレルギーへの注意や配慮 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚過敏、感覚鈍麻等に配慮した環境設定 ・体力増進のための体操、ダンス、サーキット運動、ボール運動など【モニター映像などを用いて】 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 【認知の側面】注意・集中：環境を整え、短時間のタスクで対応。 情報処理：短く具体的な指示を1つずつ出す。 記憶：視覚ツールや繰り返し学習を活用。 社会的認知：ジェスチャーや感情カードでトレーニング。 【行動の側面】衝動性：合図や「考える時間」で落ち着きを促す。【アンガーマネジメント】 対人行動：ポジティブなフィードバックや協力ゲームを活用。【AI生成】 感覚過敏/鈍麻：適切な感覚調整（イヤーマフなど） 予測不安：スケジュールの視覚化、事前説明。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・短く簡単な言葉で話す。・絵カードや写真を使ってルールや手順を視覚的に説明。・会話の順番を教える。 ・比喩や曖昧なことばは避け直接的な表現を使いわかりやすく説明する。 ・答えや反応が出るまでゆっくり（数秒）待つ。・成功を具体的に褒める。 ・AIを通じて、自身の興味を広げ、共通の興味を持った子たちのこのコミュニケーションを円滑に行えるようになる。【AI生成】 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的なサポート（スケジュール等を視覚化して不安を軽減） ・安心できる場の提供【箱庭療法を用いた心理士のサポート】 ・小さなグループから始め、徐々に人数や複雑さを増やしていく。 ・ポジティブな行動を具体的に褒めて強化する。・「相手がどう感じるか」を一緒に考える練習をする。【SST】 ・SNSの正しい使い方を学び、社会性を育む【AI生成】 			
家族支援	日常生活において、本人や保護者の意思を大切にしながらやり取りをする場面を増やす。保護者との話を通してフィードバックやアドバイスもしながら情報を共有する。	移行支援	日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の仕方や促し方について共有を図る。必要に応じて学校等を訪問し、その様子を聞く。学校と当事業所の連絡内容を相互に確認し日々の様子を交換する。		
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。	職員の質の向上	月に3度外部講師をお招きして、職員力量向上の研修を行っている。		
主な行事等	生成AI体験会、クリスマス会など				